

2026年 ノース場ホッケ新規加入量調査速報（1）

北海道立総合研究機構稚内水産試験場調査研究部 黒川大智 電話：0162-32-7166

- トロール漁獲物は0歳と1歳が主体，特に浅い海域では0歳主体
- 魚探調査における魚群数は近5年で3番目に多い

稚内水試では，毎年10月と11月の2回，稚内ノース場海域（図1）において，試験調査船北洋丸による計量魚群探知機調査と着底トロール調査（原則6回曳網）を実施しています。

本速報では，2026年10月3～5日に実施した第1回調査の結果を示します。

トロール結果

- ・6回中2回でホッケ主体の漁獲あり，海区811では0～1歳魚主体，海区812・813にかけての浅い海域では0歳魚主体
- ・0歳魚と推定されるホッケの体長は20～22cmで，この時期としてはやや大型

魚探調査結果

- ・魚群数は12で発見位置は中央と南側に集中
- ・特に海区812の中央～南側にかけて多く確認

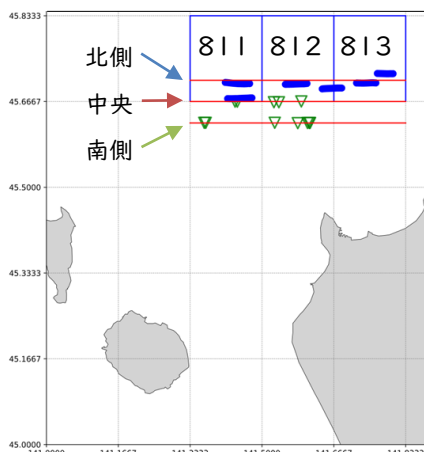


図1. 調査海域

— トロール操業位置
▽ 魚群観察位置

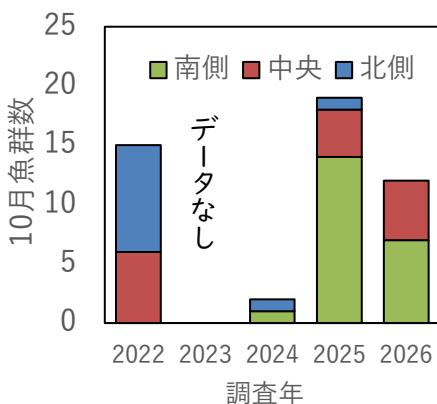
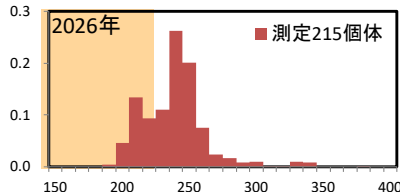
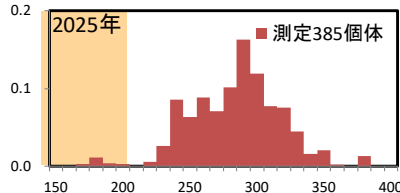
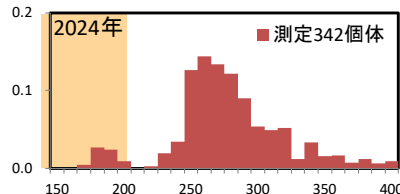
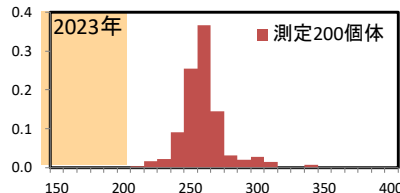
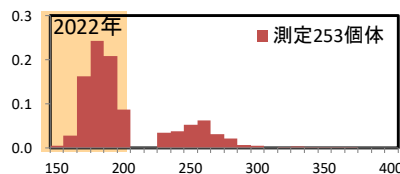


図2. 魚群観察数



体長（mm）

図3. 採集されたホッケの体長組成（縦軸は尾数割合）

※オレンジの網掛けは0歳魚と推定される体長の範囲を表す

まとめ

トロール調査では，海区812～813の比較的浅い海域で0歳魚主体のホッケが漁獲されました。計量魚探調査では，ホッケとみられる魚群が中央と南側の航走ラインで確認され，特に海区812の中央～南側航走ラインにおいて集中して確認されました。トロール調査の結果を踏まえると，これらの魚群は0歳魚を含む可能性が高いと考えられます。以上から，今年は10月時点でノース場における0歳魚の来遊があり，比較的浅い海域では0歳主体の魚群が形成されていると考えられます。ただし，豊度については，11月に実施される2次調査の結果と併せて総合的に判断する必要があります。